

わんぱく相撲実行委員会

委員長 高橋 昂己

昨年度、当委員会ではわんぱく相撲浦安場所を通して、子どもたちに礼節の心や他者を敬う心、協調性、連帯感など、社会生活をする上で必要不可欠な人間性を育んでもらうために事業を開催しました。

事業としては5月14日（土）浦安市運動公園総合体育館において、市内小学校1年生から6年生の410名の参加の下、5月第一例会「第28回わんぱく相撲浦安場所」を開催しました。各学校を回りPRするなどしたことにより、震災後のわんぱく相撲の参加者数としては最高を記録することが出来、多くの子どもたちに事業の趣旨を伝えることが出来ました。

本大会は武道を通じてのあいさつなどの礼儀作法はもちろんのこと、団体戦を開催し、頑張るともだちに声掛けし、応援することで、協調性や連帯感などを感じてもらいました。子どもたちは自分の所属するチームの勝利に向けて元気一杯、一所懸命に取り組み、そして応援をしていました。本大会を通して、多くの子どもたちに礼節や、相手を敬い思いやる心、協調性、連帯感などの大切さを感じてもらうことで日本人が持つ素晴らしい精神性を子どもたちに伝えることができたと考えます。

昨年度は実行委員会方式での開催でしたが、皆様のご協力もあり、当日は滞りなく設営をすることが出来ました。また設営を通して結束力を高めることが少なからず出来たのではないかと思います。ご参加頂いた皆様、またご協力頂いた皆様に心から御礼申し上げます。ありがとうございました。